

社会主義は理想なのか  
 ～「共産党宣言」に学ぶ  
 第6回 関東ブロック

共産主義者の使命とは何か

全体的に感じたことは

司会Ⅱ今月号から、第二章「プロレタリアと共産主義者」を二回に分けて学びます。共産主義者は、プロレタリア一般に対してどんな関係に立っているのか、からはじまります。ここではプロレタリアと共産主義者の関係について、マルクスとエンゲルスの見解が述べられています。まず、はじめにこの二章を読んで学んだこと、大事と想ったことを述べて下さい。

HⅡ共産主義者は、他の労働者党と比

べて特殊な党ではないと規定してあります。しかし、その後には、次のことによつて区別されるともいっています。

ここは大事な点ですので少し長いですが、本文から引用し紹介します。  
 「・・・共産主義者は実践的には、すべての国々の労働者政党の中で、最も断固とした、常に推進的部分であり、理論的には、プロレタリア階級の他の集団にまさつて、プロレタリア運動の条件、進行、および一般的结果を見抜く力をもっている」と言っています。

司会Ⅱなぜ、他の集団にまさつて将来を見抜く力をもっていたといえるのですか。

HⅡそれは、5月号で明らかにしたように科学的歴史観Ⅱ社会発展の法則である唯物史観によるものです。これをしつかり学び、プロレタリア一般にとどまることなく、共産主義者に成長することを促していたのだと思います。それだけでなく、現在も社会主義になつたら「働かなくなり怠け者になる」とか、「せっかくな稼いだ財産を奪われてしまう」等々のブルジョアからの非



マルクスが編集長となった『新ライン新聞』編集室のマルクスとエンゲルス

難に真つ向から応えています。その論駁は極めて明快であり、痛烈です。感銘しました。

### 労働者は祖国を持たない

司会 他の方はどうですか。

M Ⅱ わたしは「労働者は祖国を持たない」と言っていることはどういうことなのかということを変えて考えさせられました。これは、祖国、国民、国家等々の概念を階級闘争論のなかでし

っかりと捉えねばならないと強調していると思えました。

T Ⅱ そのことに関連して本文から離れますが、オリンピックのNHK報道（昨年8月21日）「おはよう日本」で刈谷解説委員は、「オリンピックは何のために開くのか。その国、都市にとって何のメリットがあるのか」の問いに次のように答えています。まず挙げたのが、①国威発揚、続いて②国際的存在感、③経済効果、④都市開発、⑤スポーツ文化の定着等々でした。このNHKの放送を聞いて、まったくおかしいと思いました。なぜならば、オリンピックを国威発揚の場にしたのは、第2次世界大戦を起こしたナチス・ドイツのヒットラーです。その反省から生まれたのが「オリンピック憲章」です。そこにはこう書かれています。「人間の尊厳の保持に重きを置く。平和な社会を奨励する」というオリンピック憲章の精神は、戦争や独裁政治

国威発揚とは相容れない」と明快に語っています。さらに、「オリンピック競技大会は、個人種目または団体種目での選手間の競争であり、国家間の競争ではない」とも記され、国別のメダルランキング表の作成も禁じているのです。NHKはそれとは逆に、日本がメダルをこれだけ取ったということを強調し、時代錯誤の放送を国民に垂れ流していると思えました。

司会 Ⅱ 現在の安倍政権は、2020年の東京オリンピックに向けて今から国威発揚に駆り立てようとしているわけですね。

T Ⅱ 私たちは、このブルジョアの宣伝に乗ってはなりません。国籍には関係なく常に全世界のプロレタリア階級の立場から、戦争や紛争の原因を考えて行動すべきである、といっていると思います。そうでないと「祖国防衛戦争」に駆り出された第2次世界大戦の誤りも質せません。



酒場で労働者と語り合うマルクス

司会Ⅱそうですね。第2次世界大戦はブルジョアジーの侵略戦争にプロレタリア階級が反対闘争を国際的に組織できなかつたことから起きたといえるのですからね。

**共産主義者は他のプロレタリア政党から何によって区別されるのか**

SⅡ「労働者は祖国を持たない」というくたりは、本文の後半部分に出てくる中身ですので、第二章の最初の方に

戻したいと思います。そこに「共産主義者は、プロレタリアの様々な国民的闘争において、国籍とは無関係な、共通の、プロレタリア階級の全体の利益を強調し、それを貫徹する」という文があります。これはプロレタリアの国際的な連帯を指していると思います。

ここの一節に、共産主義者が、他のプロレタリア政党から区別される重要な意味が述べられています。何が違うのか分からなかつたので調べてみました。司会Ⅱそれでどういう結論ができましたか。

SⅡこの時代、1847年当時は、大陸ではブルジョア革命に湧いており、労働者党はありましたが、共産主義者だけで構成される共産党はなかつたんです。しかし、「共産主義者同盟」から綱領作成を委嘱されたマルクスとエンゲルスは、敢えて、ほかの労働者党と変わりはないが、違っているのは、

国民的闘争において、国内だけでなく、国際的な階級闘争全体の利益を代表する、と宣言したことです。

なぜ、できたのか。それは、マルクスとエンゲルスだけが、唯物史観を完成させ、社会発展の法則を科学的に解き明かすことができたからです。そして、プロレタリア階級とブルジョア階級の階級闘争の発展は、資本主義から社会主義へ、共産主義へ不可避的に発展していくということを見抜くことが出来たのです。

**共産主義者の当面の目的とは**

司会Ⅱそれでは共産主義者の当面の目的とは何でしょうか。

OⅡそれは「ブルジョア支配の打倒、プロレタリア階級による政治権力の奪取である」と明言しています。この「宣言」は、「共産主義者同盟」の綱領ですから、当面の目的を明らかにし

## ◆みんなの学習講座

なければなりません。1847年の時期に次の社会を予見する洞察力には感服するばかりです。ブルジョア革命真っ盛りの大陸でブルジョア社会を倒し、次の社会とはどういう社会なのかを明らかにしていることです。

そのために果たすべき共産主義者の役割とは何か、ブルジョア階級からの諸批判に対し明快に論駁されています。今日でも社会主義に対する資本家側の批判は度々されています。私たち自身が今の資本主義の次に社会主義社会が必ず現れること、そして共産主義社会が発展していくのだ、そこに確信を持つために労働者に簡潔に語ったのが、この第二章です。

### 社会主義者と

#### 共産主義者の違いは

SⅡそれは分かりますが、共産主義者と社会主義者という関係です。二つの

言い方を私たちは使っています。むしろ、現在では社会主義革命が当面の目的だから社会主義者と一般に使っています。最終的に、共産主義社会を目指していくのだから、『共産党宣言』なんだろうけども、『共産主義宣言』ではないかという説もあると聞いたことがあります。社会主義者と共産主義者の違いは、この時代はどうだったのかな。

MTⅡこの当時は、社会主義者と共産主義者は明確に区別されていました。テキストの1888年の英語版への序文にエンゲルスが次のように述べています。

1847年当時、「社会の全面的な改造の必要を要求した部分は自らを共産主義者と称した。・・・社会主義は中産階級の運動であり、共産主義は労働者階級の運動であった。社会主義は『サロンに出入りできるもの』であり、共産主義はその正反対の『労働者階級

の解放は労働者自身の仕事であらねばならない」として、二つの名前のいずれかを選ばねばならないかについては、疑いはいえなかった。またそれ以降もわれわれは、この名前を捨てようと思ったことはない」と明言しています。

OⅡ「この名前を捨てようとは思わないう」という名前とは、社会主義とは区別される共産主義、これが「労働者階級の解放」を目指す勢力ということに使われていたのです。従って「共産主義者同盟」の綱領、『共産党宣言』なわけです。

### ブルジョア的所有の廃棄

司会Ⅱ続いて「理論的命題」がありません。「共産主義者の理論的命題は、決してあれこれの世界改良家によって発明され、発見された思想や原理にもとづくものではない」と言っています。ただれか分かりやすく説明して下さい。

S II 「共産主義思想は、だれかの頭の中の想像から生まれたものではなくて、現存する階級闘争、眼の前で起こっている歴史的運動の実際的諸関係を一般的に表現したにすぎない」、と書いています。これは、どういうことかというところとブルジョアが批判していることへの反論なのです。従来の所有関係の廃棄は、共産主義独特の特別なものではない。人間の歴史の所有関係は、たゞざる歴史的交代を受けてきた。これは階級社会の誕生は、生産力の発展から剰余生産物ができるとなり、その所有をめぐって支配する階級、支配される階級に分裂し、階級闘争は熾烈に闘われてきたわけです。資本主義も封建的所有を廃棄して誕生したのです。今度は、ブルジョアの所有を廃棄する番に過ぎない。それは所有一般の廃棄ではないのです。ここところが少し難しいかも知れません。

司会 II 共産主義者の特徴をなすものは、

所有一般でなく、ブルジョアの所有の廃棄である。これを要約すると「私有財産の廃止」であるといっています。このことがまさに命題なんです。

TK II これがブルジョアには困るわけだね。自分が取得した財産を共産主義者は廃棄しようとしていると非難しているけれども、その財産はだれが作り出したものかということだよ。労働者を賃金奴隷として雇って搾取した剰余価値で未曾有の財産を築いたわけでしょう。つまり賃金労働が資本という財産を作りだし、搾取することによって自ら増えることのない財産 II 資本を廃棄することじゃないかな。

KO II つまり、労働者が働いて得た個人的な財産は少ないし、それを廃止しようということではないんですね。また自作農や商店、中小零細企業などの生産手段を取り上げることでもない。全く生産手段を持たない労働者から搾取することで価値増殖するほかない資

本、そういう私有財産、生産手段の私有を廃止することだと思っよ。

### 資本と賃労働の対立

司会 II 続いて資本と賃労働の対立についてですが、ここでは賃労働の廃止を言っています。どうということでしょうか。

S II 社会は人間労働によって物を作らねば社会は存続できないんだ。そして、生産、分配、交換、消費という社会的生産関係をつくりだしているよね。今日の資本主義社会では、生産手段が資本家に私有され全生産物は資本家の所有になるんだが、この財産は労働者の共同の生産物であって、社会的財産というわけだ。だからこの私有を廃止して社会の共有財産にしようというわけさ。

TK II マイクロソフト創業者のビルゲイツの資産は2017年で推定860

## ◆みんなの学習講座



ビルゲイツ、彼の資産も労働者が作りだした

億ドル（約9兆5400億円）と言われているけれどもこれも労働者が作りだしたものだということになるね。SⅡそうさ。でも賃金労働の平均価格は、労働賃金の最低限度に抑えられ、やっと生命を維持していけるだけだ。だからマルクスは言う。「われわれのあくまで廃止しようと欲するものは、ただ、労働者は資本を増殖するためにのみ生活し、そして支配階級の利益が

必要としなければ生活できないという、そんなみじめな取得の性格である」と資本と賃労働の関連を明示し、廃止の意味を説いているのさ。

**ブルジョア社会は、過去が現在を支配し、共産主義社会においては現在が過去を支配する**

司会Ⅱこれは有名な言葉ですが、ブルジョア社会と共産主義社会の違いを、過去と現在の関連に例えて表現しています。分かりにくいのでだれか説明して下さい。

SⅡブルジョア社会では労働者の生きた労働によって剰余価値が生まれ、蓄積された労働として資本となります。この蓄積された資本（過去）が労働者を支配しているということです。しかし、共産主義社会では逆転します。資本家による搾取がなくなり、労働によって生み出された剰余生産物は社会の

全員の共有財産となつて、労働者の生活過程を広げ、かつ富まし、促進するための手段になるのです。つまり共産主義社会になると、労働者（現在は、生産手段（過去）を計画的に使う（支配）ようになれるわけです。

司会Ⅱ分かりましたか。今は資本主義社会ですから、過去が現在を支配しているのです。それは、飽くなき搾取する社会構造として現れます。

現在、安倍政権は「働き方改革」と称して、残業時間の上限を過労死ライン80時間を超える100時間に法制化しようとしています。過労死を法律で認めるようなものです。「宣言」の学習を通して自分自身の働き方、周りの仲間の働き方をもう一度見直してみましよう。次回は、第二章後半です。私有財産の廃止で怠惰がはびこる、家族の廃止、婦人の地位、階級的思想、そしていよいよ社会主義について論及し10の諸方策について学習します。